

# 鳥刺しやたたきには特に注意

## 「新鮮＝安全」は誤解

細菌の一つ、カンピロバクターが原因の食中毒が、近年多発しています。毎年1位か2位で推移し、昨年には、全国で319件、県内で27件発生。他の原因菌と比べて件数が多く、なかなか減りません。

カンピロバクター食中毒は、鳥刺しや鳥のたたきなどで起こりやすいとされています。かつては郷土料理だった生・半生の鶏肉料理が全国に広まったことが、減らない一つの要因として

考えられています。

カンピロバクターの特徴は、少しの菌でも食中毒を引き起こす可能性があること。お店で「朝引きで新鮮」などと書いてあっても、必ずしも安全とは言えないのです。鶏肉料理はしっかりと加熱された物を選びましょう。

7月18日、保健所の職員が飲食店を訪問し、カンピロバクター食中毒防止のための協力を呼び掛けました。

## 予防の3原則をチェック

気温や湿度が高い夏は、細菌が増殖しやすくなり、細菌性の食中毒が起こりやすくなります。食中毒はお店だけでなく、家庭でも起こります。原因菌を「付けない、増やさない、やっつける」という、予防の3原則を心掛けましょう。中でも正しい手洗いは、簡単にできて効果的です。

## ◆食中毒予防3原則

- 【菌を付けない】手や食品、調理器具はしっかり洗う
  - 【菌を増やさない】調理したらできるだけ早く食べる。常温で放置しない
  - 【菌をやっつける】調理器具は定期的に消毒。食品は内部まで十分に火を通す
- ◎衛生対策課 ☎0942・30・9726、FAX0942・30・9833



手洗いのポイントは、①流水で、②洗剤や石けんで、③表裏両方、④指の間や手首も洗って、⑤流水でしっかり流し、⑥アルコール消毒。特に洗い残しがしやすい場所は親指の付け根(左)と指の先(右)です

## 水の祭典・花火大会の露店から暴力団を排除

# 431の露店が「排除宣言」プレートを掲示

## 全露店商が宣誓書を提出

8月3日から5日にかけて行われる「水の祭典久留米まつり」「筑後川花火大会」に出店する露店商に、暴力団が介入することを防ぐため、市暴力追放推進協議会は出店者に「暴力団排除宣言プレート」を交付しました。

7月10日、出店者を取りまとめている県南部移動商業協同組合は、暴力団との関わりを持たないとした、顔写真付きの宣誓書、431人分を提出し、プレートを受領。同協議会顧問の深野浩久留米警察署長は「全ての露店が掲示することで、市民の暴排意識の向上になるし、道仁会

への強い牽制にもなります」と言います。同協議会会長の大久保勉市長は「昨年、県警に筑後地区暴力団集中取締本部ができたのを契機に、取り組みを活発にしたい」と話しました。

◎安全安心推進課 ☎0942・30・9094、FAX0942・30・9706



交付式の後、プレートを掲示した露店のセットの前で記念撮影

# くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事取材し、発信するシリーズです。

## 44 久留米の観光って？ 今回の記者：久留米工業大学(3年)平野輝彦さん



観光案内板にQRコードを貼付。観光情報を手元で見ることができます

久留米で一人暮らしを始めて2年。観光スポットは？と聞かれても答えられませんでしたが、今回は市の観光事情を観光・国際課の梅田和美さんに話を聞きました。

## 久留米の観光と云ったら何がありますか？

高良山や水天宮を観光資源としてアピールをしています。高良山は展望がきれいで、1月と8月にはライトアップもして夜景も楽しめます。水天宮は日本らしさを感じられると、外国人には人気の場所になっています。久留米にはグルメがたくさんあります。ラーメン、焼き鳥、日本酒など「食」も観光の一つとして楽しんでほしいです。外国人からは、フルーツ狩りなど、見るだけではない体験型の観光も人気です。

## 外国人へのPRは？

国ごとに人気の観光が違うので、パンフレットの内容、デザインを変えています。SNSの情報を元に旅行先を決めることが多いという分析があります。そこで、昨年は有名

な台湾のプロガーを招いて、情報発信してもらいました。

## 最近の新しい取り組みは？

観光客が相談しやすいように、JR久留米駅の案内所の位置を改札正面に変え、外国語が話せる相談員を常に配置しています。他には、観光案内板にQRコードを載せました。QRコードをスマートフォンで読み込むと、観光地、飲食店や宿泊施設が分かる地図のページが表示されます。英語、中国語、韓国語にも対応しています。初めての人も楽しめるように、モデルコースを示したパンフレットも配布しています。

## 久留米の観光を今後どのようにしていきたいですか？

久留米には、まだまだたくさんの観光スポットがあります。



多くのニーズに対応できるようにパンフレットを用意



外国人のためにタブレットを設置

まずは知ってもらったために、SNSで魅力を発信したり、グルメや日本酒などテーマを絞ったマップを作ったりしています。他にも、筑後地域の自治体で連携して、広域の観光ルートを作っていきます。それぞれの魅力を合わせてPRし、長く久留米に滞在してもらいたいと考えています。

久留米を訪れた人たちに、SNSなどで魅力を発信してほしいです。人から人へと自然に久留米がPRされていく、そんな風にしていきたいですね。

今回の取材で、久留米の観光スポットを多くの人に知ってもらったことが大事だということを知りました。私も積極的に魅力を発信します。

◎広報戦略課 ☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702